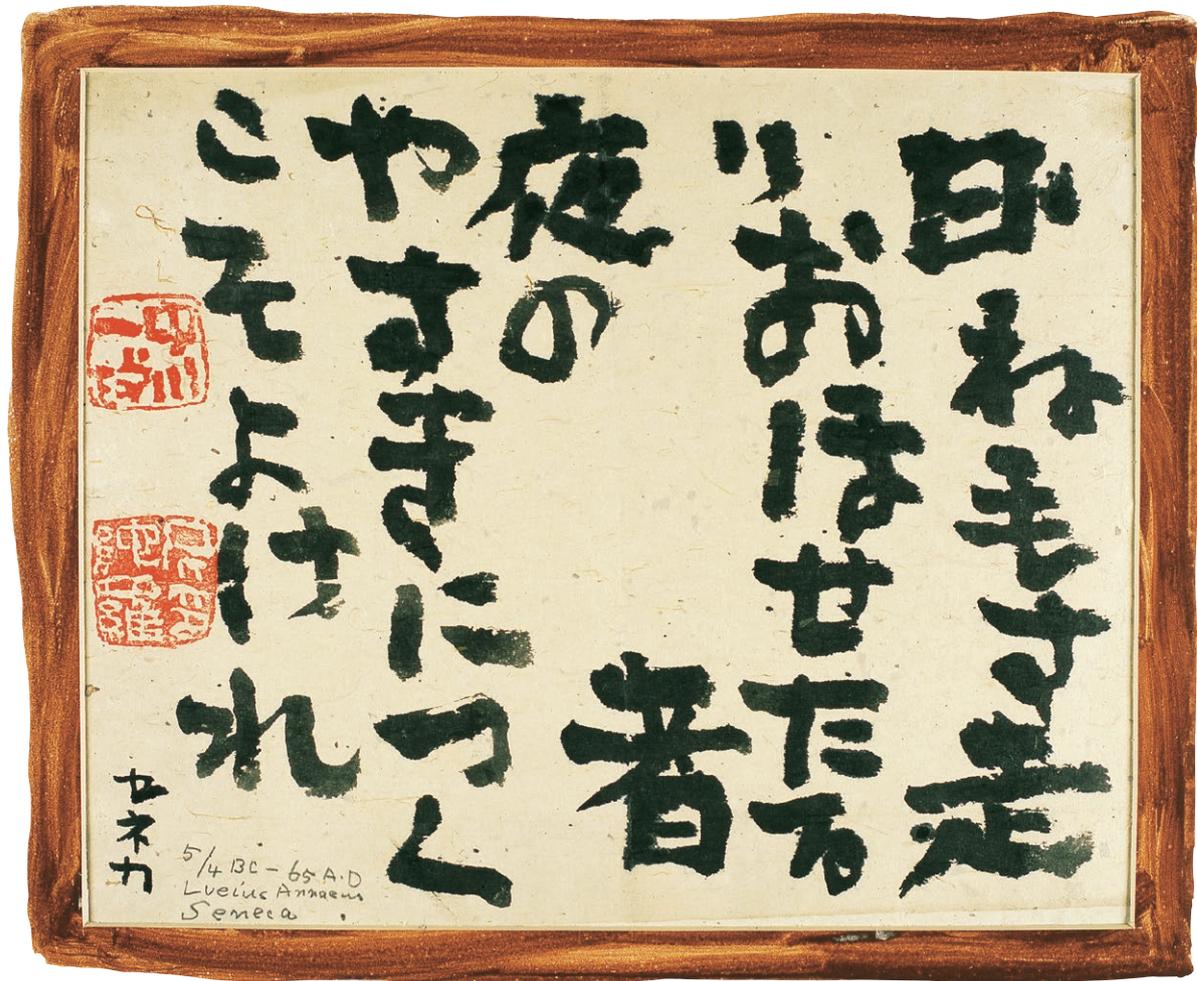


生誕
125年

中川一政展

— ひねもす
走りおおせたる者 —



2018年9月8日(土) - 11月25日(日)

白山市立松任中川一政記念美術館
NAKAGAWA Kazumasa Memorial Museum of Art



開館時間 9時 - 17時
休館日 月曜日(但し、9/17、9/24、10/8開館、9/18、9/25、10/9休館)
観覧料 大人3000(200)円・高校生200(150)円
※()は20名以上の団体料金
中学生以下及び障がい者手帳を提示の方とその介護者1名は無料
主催/白山市・白山市立松任中川一政記念美術館
助成/芸術文化振興基金、後援/北國新聞社

T924-0888 石川県白山市旭町61-1 電話076-2757532
アクセス JR金沢駅(北陸新幹線)からJR北陸線小松・福井方面行で約10分、
松任駅下車、南口から徒歩1分

(上)「ひねもす」個人蔵、(下)「彫唐津茶碗 銘官燈」1976年 真鶴町立中川一政美術館蔵

NAKAGAWA Kazumasa Memorial Exhibition

「生誕125年 中川一政展 —ひねもす 走りおおせたる者—」

平成30(2018)年は、中川一政(1893-1991、文化勲章受章者)の生誕125年を迎えます。明治26年東京に生まれ、大正期に独学で画家を志し、昭和そして平成と97年の生涯を生きた中川一政は、絵画を主軸としながらも挿画や書、陶芸、また短歌や詩、随筆など文芸にと幅広い活動を展開しています。躍動感豊かな作品は、今もおお多くの人々を魅了し、新たなファンを生み出しています。

本展ではこの節目を機に、絵画でその画業を辿ると共に、晩年から精力的に取り組んだ書と茶陶にスポットを当て、その創作姿勢ひいては生き様に迫ります。併せて、武者小路実篤や野上弥生子、また向田邦子らとの親交も紹介します。作品や資料から中川一政の生きた証に触れていただければ幸いです。

サブタイトルは、中川一政が好んだ言葉「^{ひねもす}終日走りおおせたる者、夜の安きにつこそよけれ」(古代ローマの政治家・哲学者セネカ)からの引用です。一政は「私は、よく生きた者が、よく死ぬことが出来るのだと思っている。

／それはよく働くものが、よく眠ると同じ事で、そこになんの理屈も神秘もない。」と記し、アトリエの壁に掛けたこの賢者セネカの言葉を、日々の、そして一生の励みとしたと言います(『腹の虫』1975年 日本経済新聞社)。

一政が自作の陶印に刻んだ「夜眠日走」は、「時に応じてその本分を尽くす」と解釈される禅語ですが、先のセネカの言葉を四字に収斂したものとも言えるかもしれません。いずれにしても、幅広い芸術活動すべてに全力で取り組み、倦まず弛まず自己革新を目指して生涯を走り抜いた一政の生き様と重なる言葉です。



(印影)
《夜眠日走》1970～80年代 6.5×6.8 cm 個人蔵

- (右上から)
- 《杉と茶畑》1916年 45.5×53.0 cm 真鶴町立中川一政美術館蔵
- 《静物》1945年 20.4×35.0 cm 個人蔵
- 《薔薇》1986年 72.7×60.6 cm 真鶴町立中川一政美術館蔵
- 《向日葵》1982年 120.1×83.1 cm 個人蔵
- 《薔薇》1934年 27.0×37.7 cm 個人蔵
- 《芳土》1980年 34.7×68.0 cm 大樋美術館蔵
- 《茶約(無銘)》1970年代 16.4×1.5 cm 個人蔵
- 《唐津黒茶碗 銘「武蔵坊」》1976年 径13.3×高さ9.5 cm 真鶴町立中川一政美術館蔵

[展示構成] 油彩21点、岩彩・墨彩等6点、書23点、陶器等32点、挿画等原画8点、写真ほか資料等27点、
展示総数117点※(予定)
※会期中、書と陶器を中心に一部展示替えを行ないます。
前期：9月8日(土)～10月21日(日)、後期：10月23日(火)～11月25日(日)

関連イベント

I オープニングイベント コンサートと朗読会【無料(要観覧券)／定員50名／申し込み順】

9月8日(土) 13:30～15:30 美術館内※

コンサート：弦楽三重奏 白井朝香氏(ヴァイオリン)・乗本幸氏(チェロ)・谷内直樹氏(ギター)

朗読会：『中川一政全集』(1986-87年 中央公論社)より詩・随筆等 茶谷幸也氏(フリー)

[申し込み]8月7日(火)から美術館受付又は電話等にて受付

※展示室内を会場とするため、イベント中は一般の観覧を制限させていただく場合があります。何卒ご了承ください。

II 記念講演会と中川一政茶会【一部有料／定員各175名／申し込み順】

10月8日(月・祝)

記念講演会 講師：大樋陶冶斎氏(文化勲章受章者・日本芸術院会員・十代大樋長左衛門)

演題「大樋陶冶斎が語る中川一政翁」 11:30～約1時間

[会場]千代女の里俳句館(美術館から徒歩1分) ※聴講無料(要整理券)

中川一政茶会 席主：奈良宗久氏(茶道裏千家今日庵業林)

[会場]松任ふるさと館(美術館向かい)

1席目 9:15～、2席目 10:00～、3席目 10:45～、

4席目 13:15～、5席目 14:00～、6席目 14:45～、

7席目 15:30～ ※各席25名、各席の時間は前後する場合があります。

[参加費]2,500円(本席・協賛席※+展覧会観覧券付)

※白山市茶道協会(岡島宗恵・石立宗孝社中)

[申し込み]講演会・茶会とも、9月8日(土)から美術館受付又は電話等にて受付

III 0歳からの家族鑑賞会「ミュージアム・スタート」【無料／申し込み順】

10月21日(日)14:00～15:00

[対象]概ね4歳～小学生とその家族 [定員]家族10組程度

10月22日(月・休館日)10:30～12:00

[対象]0歳～未就学児とその家族 [定員]家族10組程度

[内容]小さなお子さんとそのご家族を対象に、アートをとおしたコミュニケーション体験をガイドします。

[協力]NPO法人 赤ちゃんからのアートフレンドシップ協会

IV ギャラリーツアー タッチ&トーク【無料(要観覧券)／申し込み不要】

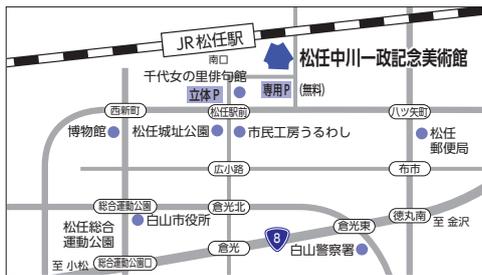
9月9日(日)、10月14日(日)、11月11日(日)

全て11:00～12:00 担当学芸員

主催 白山市・白山市立松任中川一政記念美術館

助成 芸術文化振興基金

後援 北國新聞社



白山市立松任中川一政記念美術館

- 休館日 毎週月曜日(祝休日は閉館し、その翌平日は休館)
- 開館時間 9:00～17:00(入館は16:30まで)
- 観覧料 一般300円(200円)、高校生200円(150円)、中学生以下は無料 ※()は20名以上の団体割引料金/観覧料には隣接する施設の入館料が含まれます。
- 交通案内
 - 電 車：JR松任駅(金沢駅から福井方面普通列車で約10分)南口から徒歩1分
東 京—金沢 北陸新幹線 かがやき利用で約2時間30分
大 阪—金沢 特急サンダーバード利用で約2時間30分
名古屋—金沢 特急しらさぎ利用で約3時間
 - 車：北陸自動車道白山インターから車で約10分(美術館専用駐車場8台あり)
 - 航空機：小松空港からJR小松駅経由でJR松任駅下車

NAKAGAWA Kazumasa Memorial Museum of Art

Hours: 9:00-17:00 Closed: on Mondays(Open on Mondays that fall on national holidays, in which case the museum is closed on the following day)

Admission

Adults: ¥300(200), High School Students: ¥200(150),

Junior High School Students and Younger: Free

※() indicate prices for those in groups of 20 or more.

Address: 61-1 Asahi-machi, Hakusan City, Ishikawa Pref. 924-0888

Phone: 076-275-7532

Access: 1 min.on foot from JR Matto Sta. South Exit.

(10 min.on JR Hokuriku Line from JR Kanazawa Station to JR Matto Station.)

Tokyo-Kanazawa: By Hokuriku Shinkansen Kagayaki 2.5h

Osaka-Kanazawa: By Thunderbird Ltd. Exp. Train 2.5h

Nagoya-Kanazawa: By Shirasagi Ltd. Exp. Train 3h

